

福島工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	機構学
科目基礎情報						
科目番号	0056		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	機械システム工学科		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	機構学 重松洋一 大高敏男共著 コロナ社 (09年12月25日 初版2刷以後に限定)					
担当教員	鄭 耀陽					
到達目標						
①機構の基本を把握し、機構の運動を理解できる。 ②機構の運動解析ができる。 ③実際の機械や装置の特性解析に適用する能力を養成する。						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1		各授業項目の内容を理解し、応用できる。	各授業項目の内容を理解している。	各授業項目の内容を理解していない。		
評価項目2						
評価項目3						
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 (B)						
教育方法等						
概要	本講義では、ロボットを代表とするものづくりを行うために基礎となる機構を学び、リンクと歯車などの機械要素に関する知識を修得し、機構の解析ができるようにする。理解してもらうため、なるべく動画などを見せて実感をさせる。					
授業の進め方・方法	前後期とも中間試験も期末試験も50分間で実施する。 定期試験成績を80%、課題等を20%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。					
注意点	三角関数、二次方程式の解法、ベクトル、座標変換等の数学内容を復習しておくこと。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	機構と機構学	機構学の導入		
		2週	機構の基礎	基礎用語と概念、機構の自由度		
		3週	瞬間中心	瞬間中心とケネディー定理		
		4週	ベクトルを用いた運動解析	位置、変位、速度、加速度をベクトルでの表示・演算		
		5週	瞬間中心による運動の図式解法	リンク上の点の速度・加速度の作図法		
		6週	瞬間中心による運動の図式解法	相対変位、相対速度、加速度、コリオリの加速度		
		7週	前期中間試験 (50分間)			
		8週	スライダリンク機構	スライダ位置・速度・加速度の解析		
	2ndQ	9週	スライダリンク機構	思案点と死点、倍力装置、増減速装置、節の交替		
		10週	4節回転リンク機構	クランク、てこ、カブラ		
		11週	4節回転リンク機構	グラスホフ定理		
		12週	平面リンク機構の運動解析	図式による解析		
		13週	平面リンク機構の運動解析	数式による解析		
		14週	平面リンク機構の運動解析	数式による解析		
		15週	総括	総合演習・復習		
		16週				
後期	3rdQ	1週	カム機構	カムの形状、分類		
		2週	カム機構	ポイントフォロワ板カム輪郭の設計		
		3週	カム機構	カムフォロワの運動解析		
		4週	歯車	歯車の種類、形状、用語		
		5週	歯車	インボリュート歯車		
		6週	歯車	切り下げ現象、転位		
		7週	後期中間試験 (50分間)			
		8週	歯車	歯車列、減速比		
	4thQ	9週	歯車装置	遊星機構		
		10週	歯車装置	差動歯車機構		
		11週	特殊歯車装置 (間欠機構)	ラチェット、ゼネバ機構		
		12週	巻きかけ伝動機構	分類、摩擦伝動、確実伝動		
		13週	巻きかけ伝動機構	巻きかけ(接触角)、速度比、ベルトの長さ		
		14週	巻きかけ伝動機構	ベルトの張力と回転力、見かけの摩擦力と見かけの係数		
		15週	総括	総合演習・復習		
		16週				

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	分野別の専門工学	機械系分野	機械設計	歯車の種類、各部の名称、歯型曲線、歯の大きさの表し方を説明できる。	4		
				すべり率、歯の切下げ、かみあい率を説明できる。	4		
				標準平歯車と転位歯車の違いを説明できる。	4		
				標準平歯車について、歯の曲げ強さおよび歯面強さを計算できる。	4		
				歯車列の速度伝達比を計算できる。	4		
				リンク装置の機構を理解し、その運動を説明できる。	4		
				代表的なリンク装置の、変位、速度、加速度を求めることができる。	4		
				カム装置の機構を理解し、その運動を説明できる。	4		
主な基礎曲線のカム線図を求めることができる。				4			
評価割合							
	試験	課題等	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	20	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0